

安達太良山の火山活動解説資料（平成23年7月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成21年3月31日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2～3）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図5～6）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成23年8月分）は平成23年9月8日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平20業使、第385号）。

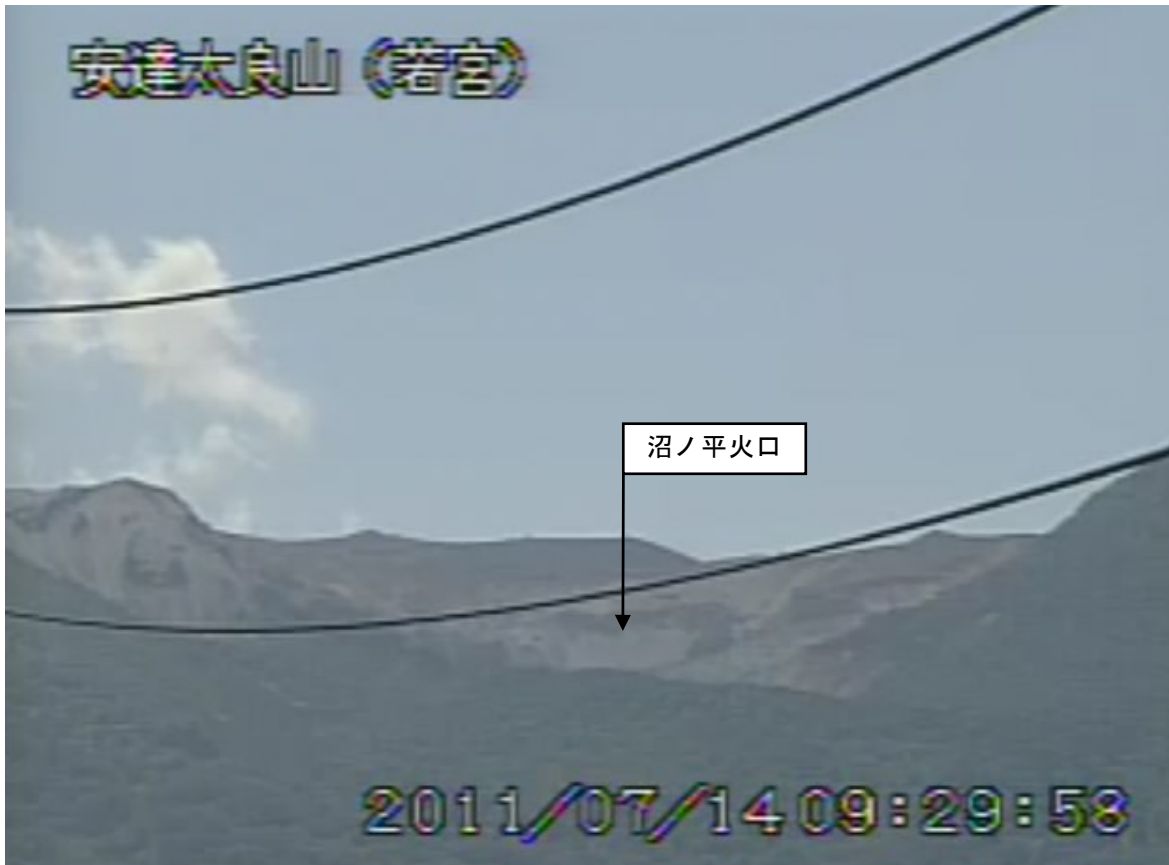


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（7月14日09時30分頃）
若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる。

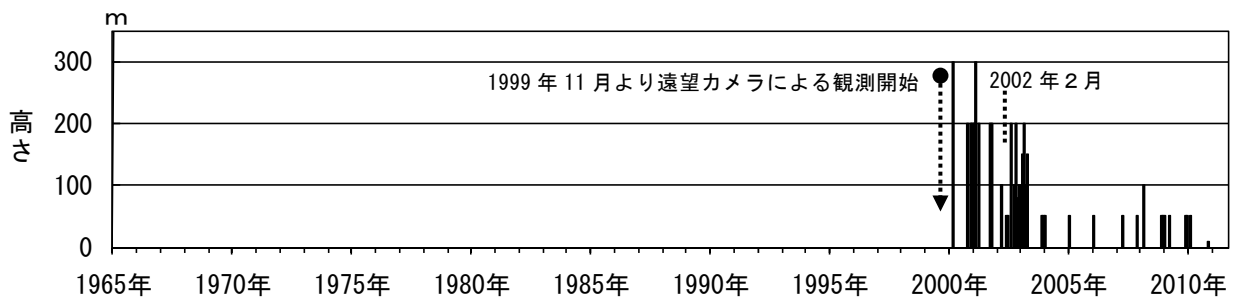


図3 安達太良山（沼ノ平）月別最大噴気高（1999年11月～2011年7月）
2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。
2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

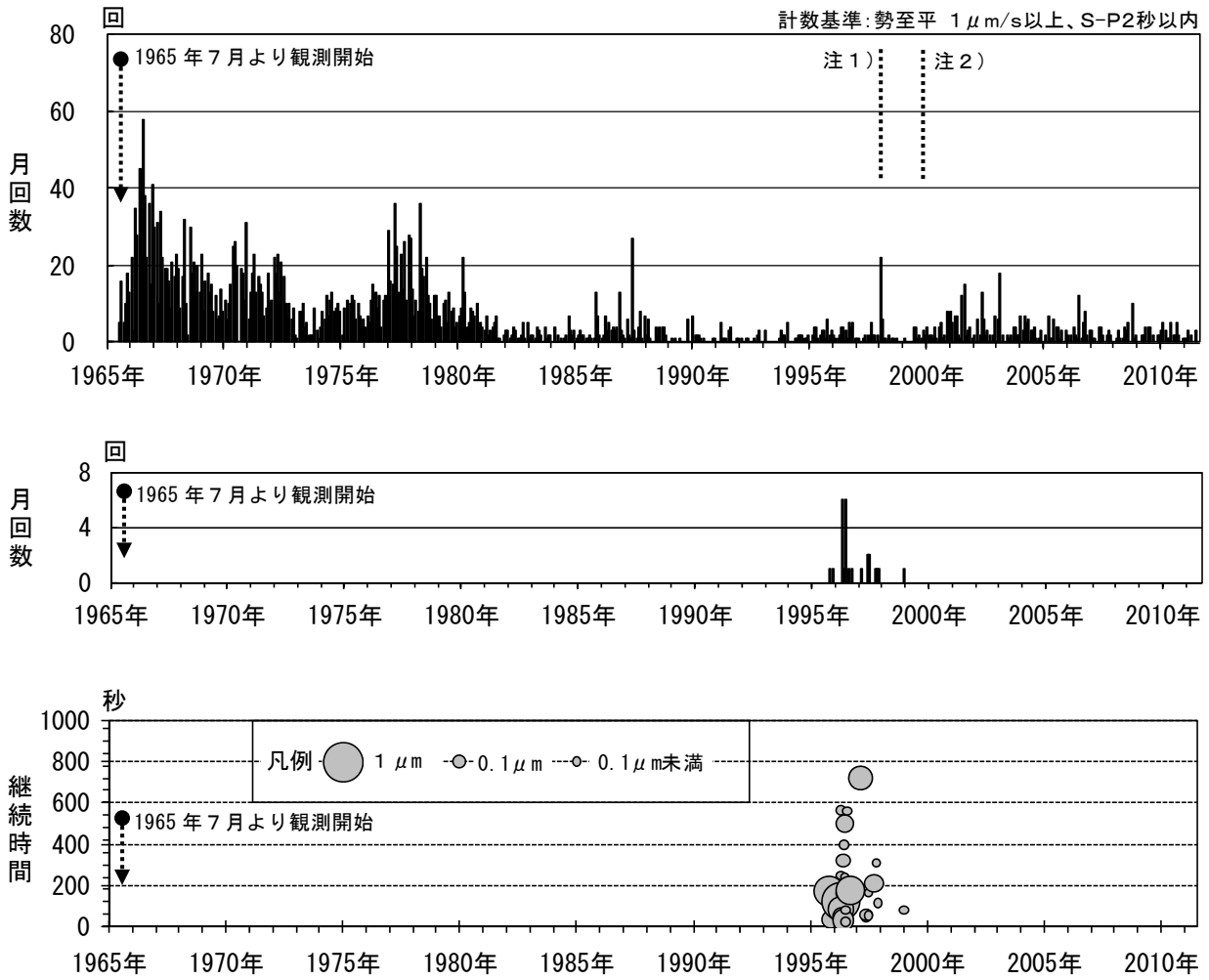


図 4 安達太良山 上段：月別地震回数（1965 年 7 月～2011 年 7 月）
 中段：月別微動回数（1965 年 7 月～2011 年 7 月）
 下段：微動の継続時間と上下動最大振幅（1965 年 7 月～2011 年 7 月）^{注 3)}

注 1) 1998 年より計数基準を S-P5 秒以内から S-P2 秒以内に変更しました。
 注 2) 1999 年 10 月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平から東北東約 6 km）から勢至平観測点（沼ノ平から東北東約 3 km）に変更しました。
 注 3) 塩沢観測点による。

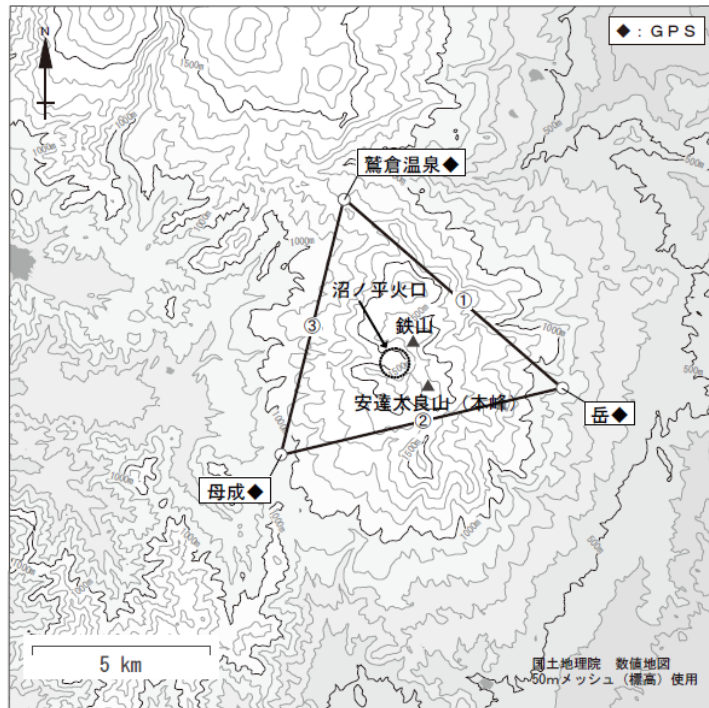


図5 安達太良山 GPS 観測点配置図
GPS 基線①～③は図6の①～③に対応します。

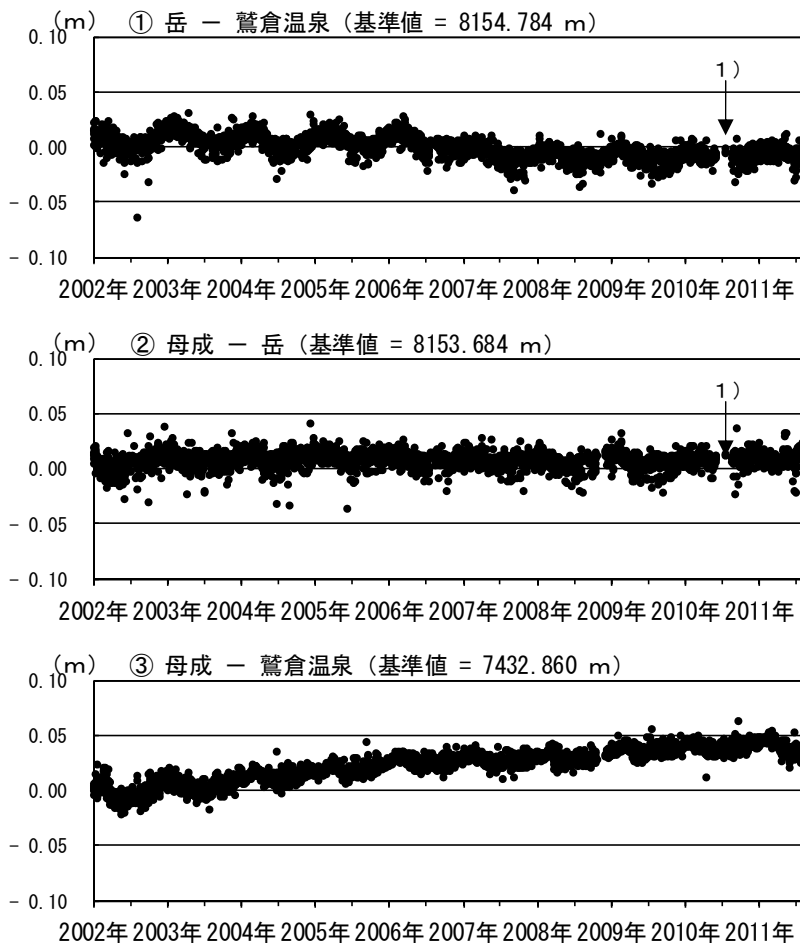


図6 安達太良山 GPS 基線長変化図（2002年1月～2011年7月）

①～③は図5のGPS基線①～③に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

③母成－鷺倉温泉の長期的な伸びの傾向は、鷺倉温泉観測点周辺の局所的な地盤の変動によるもので、火山活動によるものではないと考えられます。

1) 岳観測点の機器更新を行いました。